

FM 今月のポイント (2017年11月)

*日経平均株価は22,500円を超えて、バブル崩壊後の高値22,667円(1996年6月26日)に迫ろうとしています。仮に、22,667円を超えた場合、日本の株式市場は本当の意味でバブル崩壊による長期低迷相場を脱して、新しいステージに入ることになります(長期上昇相場への大転換が確信される)。おそらく、新聞誌上等には3万円超えの楽観論が掲載されることになると思われますが、あながち的外れでは無いかもしれません。11月1日に日経平均株価は408円高の22,420円と大幅反発しました⇒東京エレクトロンだけで98円、京セラやソニーなど値がさハイテク株合計6社で203円の上昇寄与です。米国においても連日、主要株価指数が史上最高値を更新していますが、原動力はFANGに象徴される値がさハイテクITグロース株です。世界的な景況感の改善傾向から長期金利の上昇観測により、グロース株の屈折、変調が懸念されていましたが(国内主要ストラテジストも電機セクターの引き下げ表明が相次いでいた)、どうやら杞憂に終わりそうです。値がさハイテク株主導の上昇により、低迷していたNTレシオが急反発しています(9月8日の12.08から11月2日には12.56まで上昇:6月初旬の水準まで戻している)。短期間にこれだけの変動を見せられると株価の上昇に素直に喜べない投資家が多いものと思われまます。また、そのようなポジションが蓄積されているがために現状の想定外な株高が世界的に発生している可能性もあります。9月2週から10月4週までの主体別売買動向を見ると、現物と先物を合計して外国人投資家が5兆3,000億円買い越していることに対して、国内金融機関は7,400億円売り越し、投資信託8,400億円売り越し、個人2兆9,000億円売り越しとなっています。外国人投資家の一手買いの様相です。しかし、この外国人投資家の買い越しは、2015年12月から2017年9月1週まで断続的に約6兆3,000億円売り越してきた反動(ショートカバー)と見る事ができます。短期間でのショートカバーであることから急上昇に大きく貢献していますが、一旦、ショートカバーが終了したら、急上昇の反動もより大きくなる事が想定され要注意です。

*ショートカバーラリー後が重要です(反動調整後:ショートカバーラリーで日経平均株価は23,000円レベルに到達と想定、その後の反動調整は21,500円程度を予想)。現状の世界的な株高(ショートカバーが主体)の背景は、景況感の拡大と物価の落ち着きにありまます⇒過度な金融引き締めが行われないことからゴードロックスバイアスが一段と強化されると認識されていることがポイントです。ショートカバーラリーの反動調整後、速やかに高値を更新することが出来るか否かは、このゴードロックスバイアスの持続にかかります。特に、物価動向には細心の注意が必要です。10月の米雇用統計によると、平均時給の伸びは前年同月比で2.4%上昇に留まり、期待インフレ率を引き上げる要因にはなっていません。しかし、原油価格が一時、55.76ドルと、2年4ヶ月ぶりの高値を付けています。原油価格の低迷傾向が期待インフレ率を押し下げていたことは間違いなく、今後の動向には注意が必要です。

『 重要な注意事項 』

- この資料は、市場の現状の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、いちよし証券がいちよしアセットマネジメントとの営業代理契約に基づいて提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 投資一任業務による有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

○諸経費および投資リスクについて

- 投資顧問料については、契約資産に対して年金料率で最大0.4536%(税込み)の報酬をいただくこととなります。また、契約により所定の成功報酬をいただく場合があります。その他売買手数料等の間接的な経費がかかりますが、経費の総額については委託した証券会社により手数料率等が異なるため、上限額等を表示することができません。
- お客様のために行う取引については、株式、新株予約権付社債、公社債等の有価証券に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況等の変化の影響により、投資した有価証券の価格が下落し、損失が生じるおそれ(外国証券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれ)があります。
- 信用取引やデリバティブ取引を行う場合は、差し入れた証拠金等の金額以上の取引を行う可能性があるため、原資産となる有価証券や指数等の価格変動により、差し入れた証拠金等を上回る損失が生じるおそれがあります。また、デリバティブ取引等の額の証拠金等の額に対する比率は投資方針や市場の動向等により変化するため、その比率を事前に示すことができません。
- 諸経費およびリスクについての詳細は、契約締結前交付書面をよくご覧ください。

商号等： いちよしアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号
加入協会： 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会